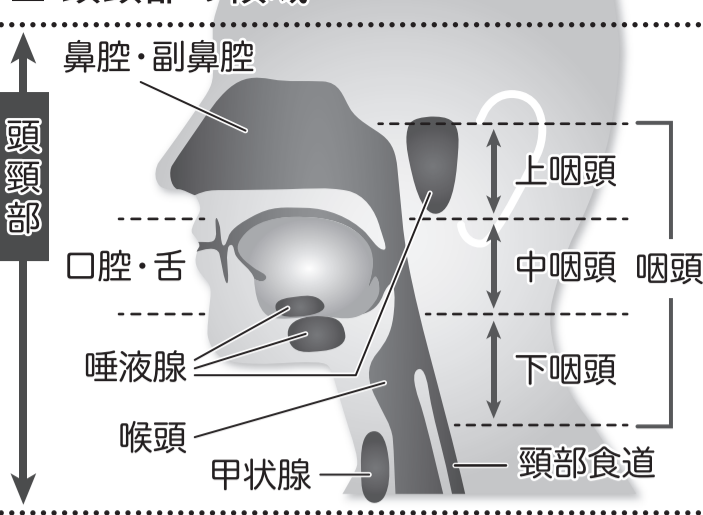


7月は「頭頸部外科月間」

耳鼻咽喉科医師座談会

■ 頭頸部の領域

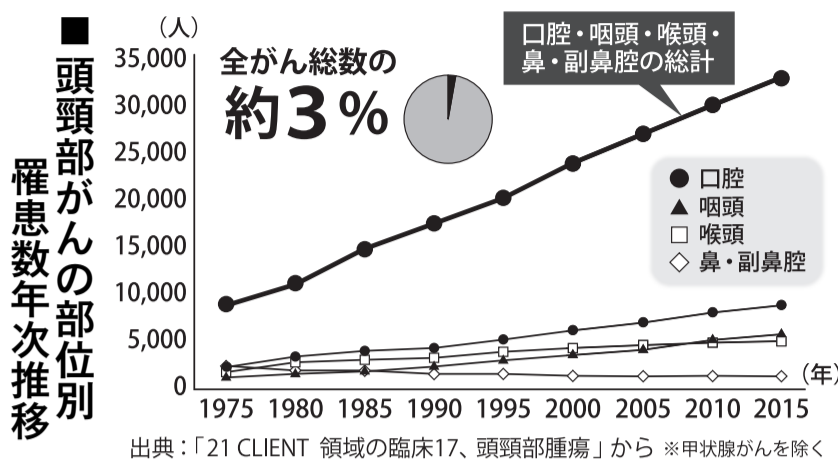


日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページから作成

頭頸部（顔、首の領域）は呼吸、発声、嗅覚、聴覚、味覚、咀嚼・嚥下など生存や生活に深く関わる機能が集中した部位だ。「頭頸部がん」は口腔、咽頭、喉頭、鼻腔など領域内にできるがんの総称で、治療には生活

の質（QOL）への配慮が欠かせない。予防や早期発見のためにはどうすればよいのか。7月は「頭頸部外科月間」。専門家である兵庫県耳鼻咽喉科医会の3人に、基本的な知識や治療事情などを聞いた。（文中敬称略）

頭頸部がん まずは検査を



篠原 術後のQOLへ配慮必須

橋 風邪症状と見分けがたい

頭頸部の領域は、篠原 鎖骨の上のこと。また脳脊髄、眼球は含まない。具体的には、鼻・副鼻腔、口腔、咽頭（上、中、下）、頸部食道、喉頭、唾液腺など。狭い範囲に

山田 口腔の不衛生もリスクに

いろいろな器官が詰まっております。いろいろな部位によって特徴や症状が異なる。日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の調査によると、患者数はがん患者全体の3%ほど。年間3万3千人程度で多くはない。

ただ、頭頸部は呼吸や食事にとって重要な部位。味、においなど感覚が集中しているし、発声、表情などコミュニケーション機能も持つ。損なうと日常生活に大きな影響が出る。がん治療の際には、機能を守る配慮が欠かせない。術後の影響を考えなければならぬ。患者に納得していただくことが大事だ。

早期発見の方法は、橋 簡単にできるのが口腔

山田 喫煙は予防と治療の妨げ

橋 胃がんなど経験者は注意

検査方法は、橋 基本となるのは視診。さらに経鼻内視鏡検査、超音波検査を含めた三つが重要だ。耳鼻科で内視鏡検査は簡便にできる。胃の内視鏡は準備が必要だし苦痛もあるが、それとは大分違う。初診でもすぐ行える。鼻、咽頭、喉頭の領域をくまなくチェックできる。超音波検査も侵襲が少ない。唾液腺とか甲状腺の病気をみつけるのにも役立つ。

山田 身近なクリニックで三つの検査ともできる。さらに必要なら、CTやMRIといった画像検査、細胞の一部を取って調べる病理検査を病院ですてもらう。

治療方法は、橋 手術、放射線治療、抗がん剤治療が3本柱といわれる。どれを選択するかは、難しい問題。手術で患部を切除すると、機能が失われる。生活の質の維持と根治性をてんびんにかけなければならぬ。腫瘍が小さく放射線で根治が見込まれる場合は抗がん剤と併用で採用する。それで根治する可能性が低ければ手術と再建手術。治療のガイドラインがあるので、それに沿って進める。ただ、「声帯を取りたくないから放射線にしてほしい」といった患者の要望にも配慮する。

山田 喫煙は予防と治療の妨げ。喫煙は呼吸器系に悪影響を及ぼす。また、がんの発生リスクを高める。喫煙が10年以上続けばがんの発生リスクはかなり低減する。「いままら禁煙しても仕方ない」という人もいるが、そうではない。禁煙するの



山田 耕作氏

やまだ耳鼻咽喉科クリニック院長

橋 智靖氏

耳鼻咽喉科部長

篠原 尚吾氏

神戸市立医療センター中央市民病院 頭頸部外科部長・医学博士

篠原 障害憂うより積極治療を

山田 大切なことは禁煙。患者の中には治療中に喫煙を続ける人もいるが、効果に影響が出る。体力回復の妨げにもなる。早期検査も大事だ。喉などの違和感が1カ月くらい続くようなら、クリニックで検査を受けた方がいい。内視鏡や超音波を使っても15分くらいで終わる。痛みがひどくなったら、進行している可能性がある。あまり神経質になると困ることもあるが、積極的に検査を受ける方を勧めたい。

橋 胃がん、食道がんの経験がある人は頭頸部がんにも注意が必要。耳鼻科での検査を心がけるべきだ。早期発見なら手術も軽々済む。喉頭摘出などを回避できる可能性がある。

篠原 術後の障害を心配して落ち込む人は多い。しかし、今は代替音声の器具などが進歩している。喉頭摘出者は患者の会が各地にあつて、お互いの経験を共有して励まし合っている。障害が残っても、その後の人生を楽しむことはできる。乳がん患者のリンクリボン運動のようなものが、頭頸部がんでもあればいい。病が治れば第一の人生が待っていると思えば、前向きに治療に臨んでほしい。

頭頸部外科月間 市民公開講座

7月30日(日) 9時半～11時半

神戸市中央区文化センター (1001、1002室)

定員=先着100人 (参加無料、事前申し込みが必要)

申し込み方法=右のQRコードから、または☎078・862・3318 (月、水、木曜)

「鼻の日」

無料電話相談

7月13日(木) 14時～15時

☎06・6435・3387

☎0798・22・3387

講演①「知っておきたい頭頸部がんの話」大月直樹氏=はりま姫路総合医療センター (頭頸部腫瘍センター長)

講演②「飲酒・喫煙と咽頭がん」四宮弘隆氏=神戸大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (特命准教授)

講演のダイジェスト 動画はこちら